

P.5

ものづくり大学開学20周年

ビジョンに教育改革



ものづくり大学(埼玉県行田市、赤松明学長)は1日、同大学で開学20周年記念式典と特別公開講座を開いた。式典には企業、行政機関、教育機関、団体などから計187人が出席した。式典で「2030将来ビジョン」を公表し、30年までに達成すべき目標として▽教育改革の実践▽研究成果の循環▽運営組織の強化▽地域連携の加速——を挙げた。

赤松学長は、特に教育研究の目標として、▽ICT行田市、赤松明学長)は1教育、DX(デジタルトランスフォーメーション)などの教育研究▽たくましさ(社会に向けた情報発信や実学教育の理念に基づいた先進的な取り組みに挑戦する)と語った。また、厚生労働省の小林洋司人材開発統括官、文部科学省の森晃憲高等教育局私学部長、大野元裕埼玉県知事、行田市長で大学理事の石井直彦氏が祝辞を述べた。

卒業生には、「直近の課題解決に真摯(しんし)に取り組む、真の価値・成果を発揮してくれるはず。『先へ先へと進化する技・深く深く深化する知』を具軸」と題して講演した。

公開講座では、大学理事を務める寺島実郎氏が「ポストコロナ時代の日本の針路—ものづくりという基